

平成25年9月28日（土）

日本緑化工学会

平成25年通常総会

鳥取大学鳥取キャンパス 共通教育棟 第1会議室
(鳥取県鳥取市湖山町南)

－ 次 第 －

1. 開 会
2. 会長挨拶
3. 議長選出
4. 議 案
 - (1) 第一号議案 平成24年度事業報告
 - (2) 第二号議案 平成24年度決算報告
 - (3) 第三号議案 平成25年度事業計画案
 - (4) 第四号議案 平成25年度収支予算案
 - (5) 第五号議案 役員の改選
5. その他
6. 閉 会

1. 第 43 回日本緑化工学会大会・ELR2012 東京

日本緑化工学会・日本景観生態学会・応用生態工学会 3 学会合同大会『ELR2012 東京』
として実施

開催年月日：平成 24 年 9 月 8 日～11 日

開催地：東京農業大学 世田谷キャンパス（東京都世田谷区桜丘 1-1-1）

発表題数：104 題（論文 20、技術報告 38、研究交流発表 46）

2. 研究会等

(1) 斜面緑化研究部会 第 43 回大会・ELR2012 東京にて研究集会を開催

①開催年月日：平成 24 年 9 月 10 日(月) 10:30～12:00

開催地：東京農業大学 一号館 142 教室（東京都世田谷区）

テーマ：「斜面緑化研究部会がめざす法面緑化の新たなルール作り（その 2）

－法面の自然回復緑化の最前線 モニタリングと評価－

参加者数：約 50 名

②意見書の提出

研究集会の成果を取りまとめ「市場単価の植生工で設定している使用植物に関する
問題点と修正に関する意見書」（2012 年 9 月 28 日付，国土交通省宛）

(2) 斜面緑化研究部会 研究集会

開催年月日：平成 25 年 1 月 29 日

開催地：国立オリンピック記念青少年総合センター（東京都渋谷区）

テーマ：「斜面緑化研究部会がめざす法面緑化の新たなルール作り（その 3）

－法面の自然回復緑化の最前線 モニタリングと評価－

参加者数：約 70 名

(3) 緑・健康研究部会 第 43 回大会・ELR2012 東京にて研究集会を開催

開催年月日：平成 24 年 9 月 8 日(土) 17:00～19:00

開催地：東京農業大学 一号館 132 教室（東京都世田谷区）

テーマ：「植物を用いた被災者支援 －農学系学生による活動報告－

参加者数：約 45 名

(4) 生態・環境緑化研究部会 第 43 回大会・ELR2012 東京にて研究集会を開催

開催年月日：平成 24 年 9 月 10 日(月) 9:00～10:30

開催地：東京農業大学 一号館 142 教室（東京都世田谷区）

テーマ：「生物多様性保全に寄与する地域性種苗の確保に関する取り組み

－三陸地域の復興を主な視点に－

参加者数：約 90 名

(5) 乾燥地緑化研究部会 乾燥地緑化研究部会第 18 回シンポジウムを開催

開催年月日：平成 25 年 2 月 9 日（土） 13：00～

開催地：東京都市大学横浜キャンパス 情報基盤センター

プレゼンテーションラボ（横浜市都筑区牛久保西）

テーマ：「乾燥地の生態系とその課題 2 アフリカ・ナミブ砂漠の自然と保全」

参加者数：22 名

(6) 積雪寒冷地緑化研究部会 研修会および見学会

開催年月日：平成 25 年 5 月 21 日（火）13：30～16：30

開催地：帯広の森 はぐくむ（帯広市南町南 9 線 49-1）

テーマ：「十勝地域における法面緑化用に適した自生植物種とその性質

－法面緑化技術者のための研修会－

参加者数：20名

(7) 第43回大会・ELR2012 東京にて研究集会を実施

企画代表者：小林達明、水庭千鶴子、大内公安、星澤保弘

開催年月日：平成24年9月8日(土) 10:00～12:00

開催地：東京農業大学 一号館 242 教室（東京都世田谷区）

テーマ：「原子力災害被災地の生態再生 (I) ー里山ランドスケープの放射能と除染ー」

3. シンポジウム

(1) ELR2012 東京 3 学会合同シンポジウム

開催年月日：平成24年9月9日(日)

開催地：東京農業大学 百周年記念講堂（東京都世田谷区）

テーマ：「災害と自然再生」 演題：4

参加者数：470名

4. 現地見学会

(1) ELR2012 東京 エクスカーション

開催年月日：平成24年9月10日～11日

テーマ：東京湾から九十九里・下総台地へ

～沿岸地域の防災・自然との共生を体感する～

見学地：東京臨海広域防災公園、千葉県浦安市・液状化被害地、森ヶ崎水再生センター、
屏風ヶ浦、飯岡灯台、飯岡市街（津波被災地）、九十九里砂防林（海岸林と津波）、寒
菊（砂丘と後背湿地地形）、成東食虫植物群落、千葉市若葉区大草町

参加者数：22名

5. 学会誌の発行

(1) 第38巻1号：平成24年8月31日発行 262 ページ（第43回大会特集号）

(2) 第38巻2号：平成24年11月30日発行 78 ページ

(3) 第38巻3号：平成25年2月28日発行 60 ページ

(4) 第38巻4号：平成25年5月31日発行 72 ページ

6. 英文誌 Landscape and Ecological Engineering の発行

(1) Vol. 9 No. 1：平成25年1月発行 202 ページ（17編）

(2) Vol. 9 No. 2：平成25年7月発行 110 ページ（11編）

2012年に発表された Impact Factor (2011) の係数 0.642

7. 平成24年度日本緑化工学会賞の授与

論文賞：上町 あずさ氏

「テイカカズラ類の分類体系の整理と交雑の可能性に関する研究」

技術賞：下園 寿秋 氏

「林道切土法面における鹿児島県下の地域性を考慮した緑化技術の開発」

技術奨励賞：田中 賢治氏

「緑化基盤の化学性調整による植生制御に関する一連の技術」

功績賞：千葉 喬三氏

功績賞：太田 猛彦氏

功績賞：長谷川 秀三氏

8. CPD

(1) 緑化・環境 CPD 協議会 会員数 950名（うち当学会員 752名）

(2) 講習会などの認定と、CPD 参加証明書の発行

今期の CPD 認定行事による CPD ポイントの認定は、合計 65.0P となった。

緑化工学会が、シンポジウム 大会 研究集会などを実施し、28.0P 発行した。
国土環境緑化協会連合会が講習会を 8 回実施し、25.0P 発行した。
NPO 法人日本緑化工協会が講習会を 1 回実施し、7.5P 発行した。
その他、日本自然保護協会のシンポジウムを認定し 4.5P 発行した。
各会場で、CPD 参加証明書の発行を行った。

(3) CPD プログラム認定委員会

プログラム認定を行った。

(4) その他

ホームページの更新を行った。

Green-if などを通じて、認定行事の広報を行った。

9. その他事業

(1) 日本緑化工協会主催「緑化工技術講習会」の後援

開催年月日：平成 25 年 1 月 28 日・29 日

開催地：国立オリンピック記念青少年総合センター（東京都渋谷区）

備考：講師派遣 3 名

(2) 公益財団法人農学会「JABEE 公認の分野審査講習会」の協賛

(3) 応用生態工学会大阪大会（9/18~21）大会への協賛

(4) 土木学会「土木分野における木材利用の拡大へ向けて」への賛同

(5) 森林保全・管理技術研究所の設立総会（3/18）へのオブザーバー参加：阿部副会長が対応

(6) みどりの式典（4/26, 内閣府）への参加について：藤原会長が対応

(7) 国立情報学研究所と Cinii に対しての申し合わせ、学術著作権協会と和文著作物の英文表記についての確認

(8) 会員有志にて、紀伊半島 2012 年台風 12 号の土砂災害調査を実施（2012 年 11~12 月）

(9) ICLEE に関連する打ち合わせを韓国にて実施、JSRT からは柴田、中島（6/19~21）

10. 会員数（平成 25 年 7 月末現在、カッコ内は前年末、(())内は前々年末）

(1) 正会員： 644 名 (691 名) ((736 名)) ←709 名（その前年）

(2) 学生会員： 108 名 (119 名) ((124 名)) ←108 名

(3) 賛助会員： 61 団体 (67 団体) ((71 団体)) ←74 団体

(4) 購読会員： 39 団体 (39 団体) ((38 団体)) ←38 団体

※ 学生会員に対する会費の優遇措置の適用を理事会で決定し、新年度より実施する

第二号議案

平成24(2012)年度 収支報告書

(平成24年8月1日～平成25年7月31日)

日本緑化工学会

	費目	予算額 (A)	実際額 (B)	差額 (B-A)	対予算割合 (B÷A×100)	摘要
収入の部	正会員費	5,528,000	5,202,850	-325,150	94.12	正会員 645名 / 今年度入金 549名 (@8,000)
	賛助会員費	2,345,000	2,380,000	35,000	101.49	賛助会員 66団体 / 今年度入金 60団体 (@35,000)
	購読会員費	312,000	328,000	16,000	105.13	購読会員 41団体 / 今年度入金 40団体 (@8,000)
	学生会員費	476,000	308,000	-168,000	64.71	学生会員 108名 / 今年度入金 58名 (@4,000)
	入会登録料	38,500	31,500	-7,000	81.82	44名 (@700)
	投稿料	380,000	575,000	195,000	151.32	通常号(論文・短報)、大会号(論文技術報告)
	広告料	1,000,000	1,540,000	540,000	154.00	Vol.36-2～Vol.36-4分
	雑収入	1,200,000	991,127	-208,873	82.59	別刷・BN販売収入、著作権使用料、J-Stage有料閲覧費、利息等
	小計	11,279,500	11,356,477	76,977	100.68	
	繰越金	6,356,659	6,356,659			
	合計	17,636,159	17,713,136	76,977	100.44	
支出の部	会議費	50,000	27,543	-22,457	55.09	理事会・評議会会議室借上費 他
	旅費交通費	400,000	662,777	262,777	165.69	理事会交通費
	事務人件費	350,000	378,288	28,288	108.08	本部経費、総務部会事務費、HP・ML管理費、サーバレンタル料
	通信費	1,000,000	768,787	-231,213	76.88	会誌・会費請求書発送費、電話・FAX料
	事務用品費	300,000	84,146	-215,854	28.05	総務部会事務用品費、コピーリース料
	学会誌刊行費	6,200,000	5,788,659	-411,341	93.37	学会誌編集・製作委託費、J-Stage登録費用、英文誌出版補助費
	大会補助費	500,000	366,932	-133,068	73.39	大会開催補助費
	シンポジウム・見学会補助費	300,000	0	-300,000	0.00	補助費(赤字補填分)、他学会共催シンポジウム補助費
	研究部会補助費	300,000	54,000	-246,000	18.00	補助費(赤字補填分)、活性化補助費
	委員会等経費	240,000	101,500	-138,500	42.29	編集委員会、大会誌編集委員会、国際誌編集委員会等経費
	事務委託費	1,800,000	2,281,910	481,910	126.77	学会事務業務委託費(会員入退会、会費徴収、会計事務業務、英文誌刊行事務委託費等)
	CPD等経費	500,000	512,810	12,810	102.56	管理経費
	諸会費	180,000	150,000	-30,000	83.33	JABEE、JAFEE
	震災特別対策費	500,000	0	-500,000	0.00	震災調査費用
	雑費	30,000	40,041	10,041	133.47	振込手数料 他
	予備費	4,986,159	0	-4,986,159	0.00	慶弔費 他
	合計	17,636,159	11,217,393	-6,418,766	63.60	
	次期繰越金		6,495,743			

平成24年度 日本緑化工学会の収支決算内容を上記のとおりご報告申し上げます。

平成25年 9月28日

日本緑化工学会経理担当理事 田中賢治



平成24 (2012)年度 貸借対照表

平成25年 7月 31日現在

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
現 金	44,876	前受け会費	86,800
預 け 金	6,915,749	未払い費用	456,382
未 収 金	78,300	次期繰越金	6,495,743
合 計	7,038,925	合 計	7,038,925

－ 財 産 目 録 －

資産の部

科 目	摘 要	金 額
現 金	事務局	44,876
預 け 金	みずほ銀行 本郷支店	5,515,477
	本郷郵便局	1,366,362
	本部(東京農業大学)	33,910
	小 計	6,915,749
未 収 金	別刷り代(37巻1号) (2件)	24,500
	投稿料、広告料 他	53,800
	小 計	78,300
合 計		7,038,925

負債の部

科 目	摘 要	金 額
前受け会費	平24(2012)年度	86,800
	小 計	86,800
未払費用		
	小 計	0
合 計		86,800

－ 会 計 監 査 報 告 －

平成24年度(平成24年 8月 1日 ～ 平成25年 7月31日) 収支決算報告書および財産目録に基づき、帳簿類を監査したところ、適正であることを認めます。

平成25年 9月10日

平成24年度 日本緑化工学会 監事

同 上

監事

小林 達明 
 中野 裕司 

平成24(2012)年度 日本緑化工学会(英文誌)

【貸借対照表】 < 平成25年 7月 31日現在 > (単位:円)

借方(資産の部)		貸方(負債の部)	
科目	金額	科目	金額
預け金	-229,511	前受金	14,700
未収金	161,700	次期繰越金	67,489
合計	82,189	合計	82,189

(資産の部)

科目	摘要		金額
預け金	みずほ銀行 本郷支店		-2,866,311
	本郷郵便局		2,636,800
	小計		-229,511
英文誌出版補助費			150,000
未収金	会費	正会員 (10名)	132,300
		学生会員 (4名)	29,400
	小計		161,700
合計			82,189

(負債の部)

科目	摘要		金額
前受金	会費	(7名)	14,700
合計			14,700

【収支報告書】 < 平成24年 8月 1日 ~ 平成25年 7月 31日 >

	費目	予算額	実際額	差額	摘要	
収入	正会員費	639,450	646,800	7,350	会員79名/今年度入金63名	
	学生会員費	29,400	25,200	-4,200	会員9名/今年度入金2名	
	出版補助費	150,000	150,000	0		
	雑収入	0	420	420		
	小計	818,850	822,420	3,570		
	繰越金			30,319		
	合計		852,739			
支出	購読費	LEE誌	668,850	640,750	-28,100	購読料(8巻2号、9巻1号)
	諸会費	2013年	150,000	150,000	0	ICLEE運営事務負担金
	合計		818,850	790,750	-28,100	

次期繰越金 61,989

— 会計監査報告 —

平成24年度(平成24年 8月 1日 ~ 平成25年 7月31日) 収支決算報告書および財産目録に基づき、帳簿類を監査したところ、適正であることを認めます。

平成 25年 9月10日

平成24年度 日本緑化工学会

監事

小林 達明 

同上

監事

中野 裕司 

平成 25 年 9 月 28 日
(平成 25 年 8 月 1 日～平成 26 年 7 月 31 日)

1. 第 44 回日本緑化工学会大会

開催年月日：平成 25 年 9 月 27 日～29 日
開催地：鳥取大学鳥取キャンパス (鳥取市湖山町南 4-101)
発表題数：75 題 (論文 19、技術報告 27、研究交流発表 29)
※ 45 回大会は帯広畜産大学で開催予定(平成 26 年 8 月 30 日～9 月 1 日)

2. 研究会 研究部会等で、1～3 回開催予定

- ①斜面緑化研究部会 ②都市緑化技術研究部会 ③生態・環境緑化研究部会
④乾燥地緑化研究部会 ⑤積雪寒冷地緑化研究部会 ⑥生物多様性緑化研究部会
⑦緑・健康研究部会

(1) 斜面緑化研究部会

第 44 回大会にて研究集会を企画

開催年月日：平成 25 年 9 月 27 日 (金) 15:30～17:10
開催地：鳥取大学 共通教育棟 第 1 会議室 (鳥取県鳥取市)
テーマ：「斜面緑化研究部会がめざす法面緑化の新たなルール作り (その 4)
－法面の自然回復緑化における評価方法の提案－」

(2) 生態・環境緑化研究部会

①第 44 回大会にて研究集会を企画

開催年月日：平成 25 年 9 月 28 日 (土) 14:10～15:50
開催地：鳥取大学 共通教育棟 第 1 会議室 (鳥取県鳥取市)
テーマ：「生態系および遺伝子の多様性に配慮した緑化の拡大に向けて
－「地域性種苗」を、「なぜ使いたいのか、使うべきなのか？」～社会的要請の
高まりを考える－」

(3) 緑・健康研究部会

「緑と人の健康」に関する研究集会を開催する予定
開催時期：平成 26 春期 開催地：京都を予定

(4) 乾燥地緑化研究部会

日本緑化工学会 乾燥地緑化研究部会第 19 回シンポジウムを企画
開催年月：平成 26 年 1 月を予定

(5) 積雪寒冷地緑化研究部会 研究集会

第 45 回大会にてシンポジウムもしくは研究集会を企画予定
開催年月：平成 26 年 8 月を予定

(6) 都市緑化技術研究部会 シンポジウムを企画予定

開催時期・開催地：未定
テーマ：(仮題)「LID を活用した、冷える街づくりに向けて」

(7) 生物多様性緑化研究部会 明治大学科学技術研究所 主催のシンポジウム

「明治大学と都市のエコロジカルネットワーク」の後援を予定

(8) 第 44 回大会にて企画されている研究集会

企画責任者：小林達明
開催年月日：平成 25 年 9 月 28 日 (土) 16:00～17:40
開催地：鳥取大学 共通教育棟 第 1 会議室 (鳥取県鳥取市)
テーマ：「原子力災害被災地の生態再生 (2) －森林の除染を考える－」

3. シンポジウム

- (1) 第44回大会 公開シンポジウム ※全国都市緑化とっとりフェアと共催
開催年月日：平成25年9月29日(日) 9:00~12:00
開催地：鳥取大学 共通教育棟 A20 (鳥取県鳥取市)
テーマ：「ナチュラルガーデンと生物多様性緑化の実践」 演題：4

4. 現地見学会

- (1) 第44回大会 現地見学会
開催年月日：平成25年9月29日(日) 13:00~15:00
テーマ：ポール・スミザー氏によるナチュラルガーデンの説明
見学地：第30回全国都市緑化とっとりフェア会場鳥取市湖山池公園
募集人員：50名(先着・事前申し込み)
- (2) 第44回大会・ミニエクスカーション
開催年月日：平成25年9月28日(土) 14:45~17:30
見学地：鳥取大学乾燥地研究センターと鳥取砂丘

5. 学会誌の発行：4回発行予定(39巻1号~4号)

- (既刊) 第39巻1号：平成25年8月31日発行 221ページ
2号, 3号では特集「シカの採食圧による植生被害防除と回復」論文を掲載予定

6. 英文誌 Landscape and Ecological Engineering の発行：2回発行予定(Vol. 10 No. 1, No. 2) LEE10周年記念号に対し、緑化工学会より「斜面緑化」に関するレビューを投稿

7. 学会賞の授与

- (1) 平成25年度日本緑化工学会賞の授与

8. CPD

- (1) CPD行事の認定とCPDポイントの付与, CPD参加証明書の発行
- (2) 会員の拡大・新会員へのCPDカード発行を行う
- (3) 必要に応じHPの更新を行う
- (4) 必要に応じ理事会, 検討部会, 認定委員会を開催するが, 通常の打合せなどはE-mailにて行うものとする
- (5) 地盤工学会とのCPD提携解約に伴い, 協議会より出金していたサーバー費用(年額250,000円)が今後不要となる

9. 東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)震災対策調査

各部会での活動を基本として、適宜調査研究等を行う

10. 紀伊半島2012年台風12号土砂災害調査

和歌山県, 和歌山大学と協力して2012年台風12号土砂災害の継続調査を行う

11. 環境省で作成中の「外来種被害防止行動計画」、「侵略的外来種リスト」について

生態・環境緑化研究部会にて会員からの意見とりまとめを行うとともに, 理事会で論点をとりまとめて環境省自然環境局野生生物課 外来生物対策室へ提示する。

第四号議案

平成25(2013)年度 収支予算書 < 案 >

(平成25年 8月 1日 ~ 平成26年 7月31日)

	費 目	H25年度 予算額 (A)	H24年度 予算額 (B)	差額 (A-B)	摘 要
収入の部	正会員費	5,160,000	5,528,000	-368,000	会員数 645名 (@8,000)
	賛助会員費	2,310,000	2,345,000	-35,000	会員数 66団体 (@35,000)
	購読会員費	328,000	312,000	16,000	会員数 41団体 (@8,000)
	学生会員費	432,000	476,000	-44,000	会員数 108名 (@4,000)
	入会登録料	30,800	38,500	-7,700	44名 (@700)
	投稿料	400,000	380,000	20,000	
	広告料	1,000,000	1,000,000	0	
	雑収入	1,000,000	1,200,000	-200,000	別刷・BN販売収入、著作権使用料、J-Stage有料閲覧費、利息等
	小 計	10,660,800	11,279,500	-618,700	
	前年度繰越金	6,495,743	6,356,659	139,084	
合 計	17,156,543	17,636,159	-479,616		
支出の部	会 議 費	50,000	50,000	0	理事会・評議会会議室借上費 他
	旅費交通費	600,000	400,000	200,000	理事会交通費
	事務人件費	400,000	350,000	50,000	本部経費、総務部会事務費、HP・ML管理費、サーバレンタル料
	通 信 費	800,000	1,000,000	-200,000	会誌・会費請求書発送費、電話・FAX料
	事務用品費	100,000	300,000	-200,000	総務部会事務用品費、コピーリース料
	学会誌刊行費	5,900,000	6,200,000	-300,000	学会誌編集・製作委託費、J-Stage登録費用、英文誌出版補助費
	大会補助費	500,000	500,000	0	大会開催補助費
	シンポジウム・見学会補助費	200,000	300,000	-100,000	補助費(赤字補填分)、他学会共催シンポジウム補助費
	研究部会補助費	300,000	300,000	0	補助費(赤字補填分)、活性化補助費
	委員会等経費	300,000	240,000	60,000	編集委員会、大会誌編集委員会、国際誌編集委員会等経費
	事務委託費	1,800,000	1,800,000	0	学会事務業務委託費(会員入退会、会費徴収、会計事務業務、英文誌刊行事務委託費等)
	CPD等経費	550,000	500,000	50,000	管理経費
	諸会費	150,000	180,000	-30,000	JABEE、JAFEE
	震災特別対策費	300,000	500,000	-200,000	震災調査費用
	雑費	30,000	30,000	0	振込手数料 他
小 計	11,980,000	12,650,000	-670,000		
予備費	5,176,543	4,986,159	190,384	慶弔費 他	
合 計	17,156,543	17,636,159	-479,616		

平成25(2013)年度 日本緑化工学会英文誌収支予算 < 案 >

(平成25年 8月 1日 ~ 平成26年 7月31日)

	費 目	平成26年度予算額	平成25年度予算額	摘要
収入	正会員費	580,650	639,450	正会員79名 (@7,350)
	学生会員費	37,800	29,400	学生会員9名 (@4,200)
	出版補助費	150,000	150,000	日本緑化工学会より
	小 計	768,450	818,850	
	繰 越 金	61,989	30,319	
	合 計	830,439	849,169	
支出	諸会費	640,750	668,850	LEE誌購読料
		150,000	150,000	ICLEE運営事務負担金
	合 計	790,750	818,850	
次期繰越金		39,689	30,319	

平成 25年 9月28日

日本緑化工学会経理担当理事 田中賢治